

# 難病・重度障害者支援福祉ものづくり ミニシンポジウム 2018

## ものづくり×福祉×地域

～あの人の笑顔を目指すものづくり～

平成18年から始まった訪問の家と湘南工科大学との福祉ものづくりコラボ。立正大学文学部の学生が加わり、障害の重い人たちを支える“ものづくり”が文系の学生にも拡がりました。

今年のシンポジウムでは、朋・径・朋第2のメンバーも登壇し“ものづくり”で作っていただいたものを、どんなふうを活用しているかプレゼンします。

ALS技術ピアサポータの久住純司さんをお迎えし、ボランティアも参加できる“地域に拡がるものづくり”の未来を考えます。

日時：平成30年9月4日(火) 13:40～17:30

場所：横浜市栄区桂台中4-7

社会福祉法人訪問の家 朋ホール

申込み&問合せ：

訪問の家 本部 045-894-4640

桂台ケアプラザ 045-897-1111

共催：立正大学・社会福祉法人訪問の家

協力：湘南工科大学

本郷中央地域障害者関係施設ネットワーク

本郷中央地区支えあい連絡会

プログラム：

13:40～14:45 自分をプレゼン／朋・径・朋第2メンバー

14:45～15:45 機器・ポスター展示&ものづくりカフェ

15:45～16:35 基調講演／湘南工科大学教授・講師

ALS協会近畿ブロック技術ピアサポータ

立正大学教授

16:40～17:20 実践報告／湘南工科大学・立正大学学生

台風(7月28日)  
による悪天候で  
延期になった  
代替日程です

# プログラム

難病・重度障害者支援ものづくりミニシンポジウム2018 訪問の家

13:40~13:45 開会の挨拶  
社会福祉法人訪問の家理事長 名里 晴美

## 自分をプレゼン

13:45~14:45

- ・朋第2 歌川 雅樹
- ・径 鈴木 幸子
- ・朋 高橋 清文
- ★コメントータ ALS技術ピアサポータ 久住 純司

## 機器・ポスター展示&ものづくりカフェ

14:45~15:45

- ・ALS患者のコミュニケーション支援機器
- ・湘南工大&立正大学の福祉ものづくり展示  
(実物・ポスター展示ブース)
- ・ものづくりカフェ

## 基調講演

15:45~16:35

- ・湘南工科大学GPと福祉ものづくり  
湘南工科大学工学部人間環境学科教授 眞岩 宏司
- ・デザイン思考と福祉ものづくり  
湘南工科大学工学部総合デザイン学科講師 木村 広幸
- ・臨床哲学と福祉ものづくり  
立正大学文学部哲学科教授 田坂 さつき
- ・重い障害のある方々へのものづくり支援のいろは  
~技術ピアサポートの経験から~  
ALS協会近畿ブロック技術ピアサポータ 久住 純司

## 実践報告

16:40~17:20

- ・湘南工科大学工学部総合デザイン学科 木村研究室学生  
謝 麒シン(学生) : 事例1 \_\_コミュニケーションボード (修理)  
& 卓上型空き缶プレス機 (製作)
- 唐 暁慧(学生) : 事例2 \_\_エバーカワイ CDラジカセ (修理)  
& 揺れを利用する楽器 (製作)
- 大山 大貴(学生) : 事例3 \_\_竹炭製作用竹割補助具2号機 (修理)  
& 焼肉を楽しむ補助具 (製作)
- ・立正大学文学部哲学科 田坂ゼミ学生  
山野 瑞穂・白井 瑠夏(学生) :  
ALS患者対象リクライゼーション装置  
「ひとごち」(製作)
- ★コメントータ ALS技術ピアサポータ 久住 純司

17:25~17:30 閉会の挨拶  
立正大学文学部哲学科教授 田坂 さつき

※プログラムについては、発表者の都合で当日変更になることもあります。